

# 風疹

## 県感染症情報センター

### 声なき感染症を知る

◆82◆

厚生労働省は2(ふつ)月4(しん)日を「風疹の日」と定め、風疹排除に向け毎年啓発活動を行っています。今回は風疹についてお話しします。

#### ▽強い感染力

風疹は風疹ウイルスによって起こる感染症です。発熱、発疹、リンパ節腫脹の症状を特徴としますが、感染しても明らかかな症状がない「不顕性感染」から、脳炎など重篤な合併症併発まで、症状は幅広いです。また1人の感染者が、次に平均で5〜7人に感染させるほど感染力が強(ちなみにインフルエンザは1〜3人)、厄介な感染症です。

#### ▽胎児の先天的障害の原因に

また、風疹の一番の問題は、風疹に感受性のある妊娠20週ごろまでの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、出生児が先天性風疹症候群を発症する可能性があることです。先天性風疹症候群を発症すると、胎児は目や耳、心臓に障害を引き起こします。

2012〜2013年には1万人以上が感染し、45人の子供が先天性風疹症候群に罹患しました。その後、一旦は感染者数が減少しましたが、2018年に再び流行しています。

#### ▽定期接種で小児の感染は減少

先天性風疹症候群の予防を最大の目的として1977年、女子中学生を対象にした風疹ワクチンの定期接種が始まりま

した。しかし、定期接種の開始後も数年ごとに大きな流行を繰り返しました。

このため、1995年4月からは1歳〜7歳半の男女を対象にワクチン接種が行われるようになり、さらに接種歴のない中学生男女も経過措置で定期接種の対象となりました。

こうした施策によって、長く風疹患者

## 胎児に障害のリスク 中年男性に接種推奨

の多数を占めていた小児の感染は激減しました。

#### ▽現在は中年男性の感染者が多数

現在は、小児に代わって、成人が患者の大半を占めており、患者数は男性が女性の4倍近くと多いです。特に、1回もワクチンを接種したことのない「1996年(昭和37年)4月2日〜1979年(昭和54年)4月1日生まれの男性」が大きな割合を占め、この世代の20%ほどは感染を防ぐための十分な免疫を持っていないとされています。

そして、職場や家庭で感染が広がり、妊婦に感染し胎児へ影響することが懸念されています。

▽無料のワクチン接種キャンペーン中  
このような事態を踏まえ、厚生労働省は2018年度に、2020年度までに風疹排除の目標を掲げています。1回もワクチンを接種していない前述の年代の男性を対象に、2019年〜2022年3月末に、居住自治体から抗体検査と抗体価が低い場合ワクチン接種が1回無料で受けられるクーポン券を郵送していま

す。  
勤務地などの居住地以外であっても、風疹抗体検査・ワクチン接種を受けることができ、さらに、事業所健診の機会を利用して抗体検査を受けられるなどの対応もされています。

しかし80%以上の人は検査を受けてお

染症流行の影響で人との接触が減ったり感染対策への意識が上がったためか、全国での感染者数は2019年の約2000人から100人ほどに減少しています。

#### ▽ワクチン接種で流行防止を

風疹ならびに先天性風疹症候群は予防可能な疾患であり、免疫のある人が大半になれば感染する人が少ないので感染は広がりにくくなります。そして、感染者数がほとんどいなくなれば妊婦に感染する可能性も下がります。風疹ワクチンは1回接種による免疫獲得(風疹に対する抗体の獲得=感染しない)率は95%、2回接種では約99%と考えられており、2回接種でより高い効果が得られます。

#### ▽女性は妊娠前に接種を

妊娠可能年齢の女性で風疹抗体がない場合には、積極的にワクチンで免疫を獲得しておくことが望まれますが、生ワクチンであるため妊娠判明後はウイルスが増殖して胎児に何らかの悪影響を与える可能性があるため接種できません。先天性風疹症候群を防ぐために妊娠前やその周囲の人が積極的にワクチンを接種することが重要です。

#止めるぞ 風しん  
感染なんてさせない  
ワクチンで止める  
One for all, all for one  
対象:1962(昭和37)年4月2日~1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様  
厚生労働省

中年男性に風疹のワクチン接種を啓発する厚生労働省のポスター。風疹対策の対象である中年男性に対する強い訴求力を期待し、中年男性にファンが多いラグビー日本代表が起用された(出典・厚生労働省のホームページ)